

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
府中市立府中学園

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	2	2	2	2	3	3	14	9	23

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
算数	5	3	5	15	
理科	5	1	3	3	

授業時数 計 18 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 18 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画


教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: A)	A	専科	C	推進	B	専科	専科	A	B	A	A	A	A
5年 2組 (担任: B)	B	専科	C	推進	B	専科	専科	A	B	C	B	B	B
5年 3組 (担任: C)	C	専科	C	推進	推進	専科	専科	A	B	C	C	C	C

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数(d)	授業時数の合計(c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
5-1	24	A	5-2	家庭	1.7	12.4	11.7	24.1
			5-3	家庭	1.7			
			6-1	理科	3			
			6-2	理科	3			
			6-3	理科	3			
5-2	23	B	5-1	理科	3	8.2	13.6	21.8
			5-1	体育	2.6			
			5-3	体育	2.6			
5-3	24	C	5-1	社会	2.9	7.8	12.9	20.7
			5-2	社会	2.9			
			5-2	外国語	2			

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果分析 ・府中市の一斉標準学力調査の結果分析 ・教材研究と授業準備 ・宿題丸付けと直しの徹底 (指導内容に反映させる) ・学力補充の取り組み(長期休み、休憩、放課後など) ・4問テスト(5分程度, 週1~2回) ・ノート指導(毎授業後回収)
① ③	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の算数・数学グループの授業研究への参加  <p>(推進教員の研究授業)</p>
④	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち教科数、持ち時間の削減
②	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全クラスで授業を行う
④	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選、超過勤務の削減



〈成果〉	
①	府中市全体で行っている標準学力調査算数(12月実施)では、正答率が78.2%で全国平均を16.2ポイント上回った。また、30%未満の児童は一人いたが、目標の5%未満は1.2%だったので達成できた。日々の地道な努力の積み重ねにより少しずつ学力を定着させることができた。
① ③	義務教育学校の強みを生かし、後期課程の授業研究へ参加したり、事後協議で後期課程の教員と意見交換をしたりすることができ系統的な指導を意識することができた。
④	アンケートでは「負担が軽減された。」の項目に肯定的な回答をした先生の割合が100%であった。担当教科が削減されているので授業準備にかかる時間を削減することができた。
②	アンケートでは「授業を担当している児童について現状を交流し、多面的な児童理解をすすめることができた。」の項目に肯定的な回答をした先生の割合が100%であった。毎日学年会を開くことで学年のことがよく分かり、深い児童理解につながった。
④	令和6年度の高学年担当教員の月別超過勤務の平均は60.6時間で、令和7年度は平均50.6時間であった。かなりの削減になっており、目標の1時間の削減は達成できた。すべきことの優先順位を決め、効率よく仕事をすることができてはじめてきた。

〈課題〉	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・より深い教材研究を通じた教師の授業力向上



〈対策〉	
①	アンケートでは、「空き時間でより深い教材研究ができた。」の項目に肯定的な回答をした先生の割合が67%と目標の80%に届かなかった。特に3学期になり他学年への指導に入ることが多く、空き時間を有効に活用できない日が増えた。今後は学校全体の動きを全職員で共有するとともに、他学年の指導に入る計画を立てることで、見直しをもって、各自の仕事を行えるようにしていく。